

## 第 2 3 回中央非常通信協議会表彰 被表彰者

被表彰者	功績の概要
関東管区警察局 情報通信部	関東管区警察局では、平成 25 年から、災害現場等の映像をリアルタイムに伝送可能な公共ブロードバンドシステムを導入しています。平成 25 年 9 月には、埼玉県越谷市を含む地域で発生した竜巻等による被害現場に対して、本システムを使用し、輪郭が明瞭等良好な画質により、被害状況の把握に効果を発揮しました。これら取組は、先導的導入事例として、今後、本システムの普及促進に寄与するものです。
和歌山県	和歌山県では、県内全市町村に防災相互通信用無線局を整備するとともに、台風 12 号被害（平成 23 年）を教訓とした「孤立集落通信訓練」など実践的な訓練に取り組み、平成 25 年 8 月には、防災相互通信用無線局を使った通信訓練を全市町村において実施しています。さらに、南海トラフ巨大地震被害想定に対応した非常通信ルートの全面的な見直しを行うなど、非常時の通信確保に関して有意な取組を行われました。
津和野町	津和野町では、平成 25 年 7 月、島根県及び山口県の豪雨被害の発生において、いち早く臨時災害放送局を開設し、孤立した地区住民への災害情報等放送を、継続して実施されました。同町では、通常の通信手段が不能になった場合に備え、災害放送用機材をあらかじめ準備していたもので、非常時の通信確保に関して有意な取組を行われました。